

洋菓子店さんで行っていた ハロウィン盛り上げ術!!

数件の洋菓子店さんで昨年お店を盛り上げるために取り組んでいたことをお伝えします。

A 洋菓子店さん

スタッフ全員仮装をしてお客様を迎えました!! 日によって違う仮装を準備。「今日はこんな仮装です!」とfacebookやTwitterの更新のネタにもなります。仮装をして来店したお客様には、お菓子のプレゼントもしていました!



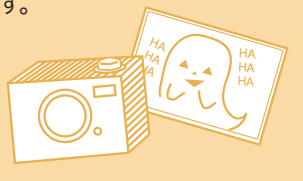
B 洋菓子店さん

ハロウィン用のディスプレイをしていました。
活用しているのは100円ショップ。安くてもかわいいものが揃っているので、助かっています。



C 洋菓子店さん

仮装して来店したお客様に、お菓子と写真のプレゼントをしています。その場で撮ったお客様の写真を、プリントアウトしてお渡ししていました。仮装して来店してくださるお子さんが多かったです。



いかがでしたでしょうか? ハロウィンを盛り上げるために各お店で様々な工夫をされています。洋菓子店さんの可愛いディスプレイは100円ショップを活用しているんですね。驚きです! スタッフさんの仮装の投稿や、仮装で来店した方の写真のプレゼントは、ハロウィンのイベントを楽しむだけでなく、お店のファンになってしまいますよね! こんな楽しいサービスがあるお店ならまた行きたい! と思っていまいますよね。「ハロウィンをもっと盛り上げたい!」「ハロウィンをお店でやってみようかな?」とお考えの洋菓子店さんの参考になれば幸いです。

カンカンマンのひとこと

僕たちお菓子のミカタのモットーは、『菓子職人さんもお店に来るお客さまも、そして僕たち自身も、皆んなが笑顔になれる仕事を届ける』ってこと。
僕の顔やお菓子のミカタのロゴマークにあるように、皆んなが笑顔でつながるといいなあって思うのです!!



編集後記

こんにちは。編集長のナカガワです。
今回はカタログとWEBサイトのリニューアル、ビジュ缶のできるまでのお話の特集させていただきました。記事をまとめている中で、シェフやマダムに実際に手にとって、「欲しい!」「可愛い」と言ってくれた時、本当に嬉しかったことを思い返していました。今後も手に取る方に喜んでいただけるものづくりを心がけていきたいと改めて思いました。

今回はもう少し笑顔の写真を
使おうと思います(笑)



ナカガワ



お菓子のミカタ

<http://www.okashinomikata.com/>



大阪製罐株式会社
〒578-0941 大阪府東大阪市岩田町2-3-28
TEL: 06-6723-5545 FAX: 06-6725-3470

洋菓子店SMILE通信

2016. SEPTEMBER

カタログ
WEBサイト

リニューアル
いたしました



MAKE SMILES WITH CANS
缶で笑顔のお手伝い

ビジュ缶ができるまでの話

ハロウィンを盛り上げるために
お店でしていること



セールスレター

さっと! 5秒でラッピング
スリーブ

忙しい洋菓子店さんのお手伝い
クリスマス缶

実は1年中販売してます
ハロウィン缶

まずは6缶から使ってみませんか?
おためし缶セット

POP

スリーブ専用
ハロウィンフリー pop

お菓子のミカタ



カタログ
WEBサイト
リニューアル
いたしました

MAKE SMILES WITH CANS

缶で笑顔のお手伝い

カタログ

めくるだけで楽しい
アートブックのような仕上がり



カタログにはメルヘンチックで少しシュールな世界観が広がっています。その中にも実際に缶を使う想像をしていただかないといけません。写真に使われている焼き菓子のほとんどは、お菓子のミカタがいつもお世話になっている“mayumimade”のパティシエ井上真由美さんにお願ひしました。デザイナーさんとの打ち合わせにも同席していただき、どんなお菓子がいいのか提案してもらいました。缶とお菓子の組み合わせなど想像力の広がるカタログになったのではないかと思います。

WEB

カーソルを合わせる動く
遊び心を詰めたサイト



カーソルを持っていくと缶が開いたり、缶のまわりにデザインが浮かんだり遊び心がサイト全体にちりばめられています。サイトに来ると、まず1番上にあるのが、「缶のまわりのこと」というコンテンツ。洋菓子店さんへのインタビューを掲載しています。まずは、洋菓子店さんのインタビューを見てサイトを楽しんでいただくと嬉しいです。ニュースレターのバックナンバーや、お菓子のミカタ Youtube チャンネルに飛べるバナーなども追加されています。

MAKE SMILES 「缶で笑顔のお手伝い」

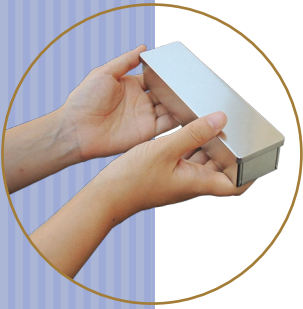
私たちお菓子のミカタの仕事は、お菓子の缶を通して菓子職人さんやそのお店で働くスタッフさんが、お店に来るお客さまを喜ばせるお手伝いすることです。お店でお菓子を見た瞬間、お家でお菓子を食べる瞬間、そして食べ終わった後にお菓子を思い出す瞬間に、私たちの缶で「お店とお客さまをつなげるお手伝い」ができれば嬉しく思います。そんな人と人が“つながる”という意味で、私たちのお客さまである全国各地の菓子職人さんたちにカタログ

や Web サイトに登場いただいています。私たちが菓子職人さんから元気をいただくように、私たちも菓子職人さんに役立つモノゴトや元気をお届けして笑顔になってもらえるような、正義の味方ならぬ お菓子屋さんのミカタ になるために、これからも日々頑張っていこうと思います。

ということで、新しくなったカタログと Web サイトをよかったら覗いてみてくださいね〜♪

ビジュ缶ができるまでのお話。

企画から、デザイン、製缶と完成するまでに様々なストーリーがありました



キラキラした宝石箱のような缶をつくりたい

お菓子はキラキラした宝石のようなもの。そんなお菓子をそっと詰める宝石箱のような缶をつくりたい、という思いから新しい缶作りがスタートしました。大きさは、手のひらサイズの細長い缶。

行きつけのデザイン事務所に依頼

ショコラ缶、キッチン缶をデザインしてくださったデザイナーの國影さんをお願いしました。「お菓子をそっと詰める宝石箱のような缶」そんなイメージから、出来上がったのがアンティークな宝石がついた大人の雰囲気“ビジュ缶”天面の宝石は國影さんの手書きのイラストなんです。2週間もかけて作られているイラストにはこだわりがたくさん詰まっています。今回、國影さんにビジュ缶のデザインについてインタビューをしてきました！

デザインのイメージ、細かい宝石のイラストをいかすためのこだわりのポイントなどビジュ缶に込められた思いを聞いていただけます。

右の QR コードからか、youtube のお菓子のミカタチャンネルからも見ていただけます。

職人さんたちの調節

デザインができれば、製缶のための金型づくりです。

こだわりの1缶にするために、たくさんの工夫がありました。上品にキラッとした、國影さんのデザインに近づけるため、なんども相談しながら試作の印刷をしました。缶の天面、宝石の凸凹はエンボスと言います。宝石のリアルさを出すため、かなり細かいエンボスに。直径2mmほどの細かいパールも丸くも表現しています。小さい面積に細かいエンボスがぎゅと詰まっているので、製缶すると歪みが出てしまったことも。歪みなくエンボスを出すために調整と試作を重ねていきました。

ビジュ缶ができました！

そして！ようやくビジュ缶ができました！

発売前から、「かわいい！」「欲しい」とお声をいただけたこと大変嬉しく思います。先月お届けのニュースレターをみて、サンプルの注文をたくさんいただいています。今後使っていただける洋菓子店さんが増えていく中でどんなお菓子をいれてもらえるのか、お客様にどんな反応をしていただけるのか、お菓子屋さんとお客さまをつなぐ役割が果たせること、ワクワクしながら待っております。



デザイナー
國影さん



ビジュ缶イラストの原画



エンボスの型

インタビュー動画はこちら↓

QR コード



又は

youtube にて

ビジュ缶 🔍 で検索

